

## 岡山市の環境に関するアンケート

### 貴事業所について

問1 貴事業所について、あてはまる番号に○をつけてください。

なお、アンケートが送付された事業所のみが対象で、他所にある事業所は対象外です。（以降の設問も同様。）

1. 農業・林業	2. 漁業
3. 鉱業・採石業・砂利採取業	4. 建設業
5. 製造業	6. 電気・ガス・熱供給・水道業
7. 情報通信業	8. 運輸業・郵便業
9. 卸売業・小売業	10. 金融業・保険業
11. 不動産業・物件賃貸業	12. 学術研究・専門・技術サービス業
13. 宿泊業・飲食サービス業	14. 生活関連サービス業・娯楽業
15. 教育・学習支援業	16. 医療・福祉
17. 複合サービス業	18. サービス業（他に分類されない）・ 公務（他に分類されるもの除く）
19. 分類不能	

### 生物多様性について

問2-1 貴事業所は、「生物多様性」、「TNFD」、「自然共生サイト」という言葉の意味を知っていますか？あてはまる欄に○を記入してください。

回答	生物多様性	TNFD	自然共生サイト
1. 知っている			
2. 聞いたことがあるが、意味はよく知らない			
3. 聞いたことがない			

● 「生物多様性」とは

地球上に多くの生物が存在し、それぞれが周辺の環境と、また他の生物と、相互に関わりあいながら共存していることを、「生物多様性」(biodiversity)や「生物学的多様性」(biological diversity)という言葉で表現します。長い歴史の結果生み出された生物多様性は、かけがえがなく、それ自体を尊重すべきものです。また、生物多様性は様々なめぐみをもたらし、ともに、全ての生物の生息、生育の基盤となっています。

● 「TNFD」とは

TNFD（自然関連財務情報開示タスクフォース）とは、企業や金融機関が、自然資本や生物多様性に関するリスクや機会を適切に評価・開示するためのフレームワークを確立することを目的として設立された国際的な組織のことで、パリ協定、ポスト 2020 生物多様性枠組、SDGs の内容に沿って、自然を保全・回復する活動に資金の流れを向け直し、自然と人々が繁栄できるようにすることで、世界経済に回復力をもたらし、ことを目指しています。

● 「自然共生サイト」とは

「自然共生サイト」とは、「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を国が認定する区域のことで、

認定区域は、保護地域との重複を除き、「OECM」として国際データベースに登録されます。

<問2-1で「1.知っている」と回答された方>

問2-2 「TNFD」及び「自然共生サイト」に参加（予定）していますか？あてはまる欄に○を記入してください。

回答	TNFD	自然共生サイト
1. すでに参加している		
2. 参加予定または参加したい		
3. 参加する予定はない		

問3 生物多様性の保全について、貴事業所の考えに最も近いものはどれですか？（○はひとつ）

1. 事業活動がある程度制約されても保全を優先する
2. 事業活動が制約されない程度に保全する
3. 事業活動を発展させるためには、ある程度自然が失われても仕方がない
4. 事業活動を優先し、自然環境の保全は気にしなくて良い
5. 分からない

#### 岡山市の自然・生物多様性について

問4 岡山市の自然やそれを取り巻く環境について、どのように感じていますか？（○はひとつ）

1. 自然が豊かで、様々な生きものがある
2. 自然は減少しているが、様々な生きものがある
3. 自然は豊かだが、生きものの種類は減少している
4. 自然、生きものの種類ともに減少している
5. わからない

#### 生物多様性の取組について

問5 貴事業所の事業活動と生物多様性の保全への取組との関連性について、あてはまるものをお教えてください。（○はひとつ）

1. 自社の企業活動との関連性が高く、重要視している
2. 自社の企業活動との関連性はあるが、それほど重要視していない
3. 生物多様性は重要ではあるが、自社の企業活動との関連性は低いと考えている
4. その他（ ）

問6-1 貴事業所では、環境に対する経営方針あるいは事業活動において、生物多様性についてどのように位置付けていますか？（○はひとつ）

1. 経営方針において生物多様性の保全について定めている
2. 経営方針で明確にはしていないが、事業活動において生物多様性の保全に務めるよう配慮している
3. 事業所において、特に位置づけておらず、生物多様性の保全を考慮した事業活動もしていない
4. その他（ ）

<問6-1で1、2とお答えの方>

問6-2 貴事業所で行っている保全活動について教えてください。(○はいくつでも)

<ol style="list-style-type: none"><li>1. 生物多様性に配慮した物品・サービスの購入 (森林認証や漁業認証などの認証製品、グリーン購入など)</li><li>2. 業務における自然環境への配慮 (省エネルギー・省資源、エコドライブ、地産地消、簡易包装、製品化の際の配慮、工事における工法の工夫など)</li><li>3. 所有地(管理地等)の緑化の推進</li><li>4. 里地里山、山林の保全</li><li>5. 河川などの水辺の保全</li><li>6. 従業員への研修の実施</li><li>7. 自然観察会など自然に親しむイベントの実施</li><li>8. 外来種の駆除活動</li><li>9. 学校等での環境教育</li><li>10. その他 ( )</li></ol>
--

<問6-1で3とお答えの方>

問6-3 貴事業所では岡山市で適当な施策があれば生物多様性の保全活動に取り組みたいと思いますか? (○はひとつ)

<ol style="list-style-type: none"><li>1. 取り組みたい</li><li>2. 取り組みたいと思わない</li><li>3. その他 ( )</li></ol>
---

<問6-3で1とお答えの方>

問6-4 貴事業所で行う取り組みたい保全活動は何ですか? (○はいくつでも)

<ol style="list-style-type: none"><li>1. 事業活動で自然環境を破壊しないこと</li><li>2. 自然環境に配慮した工法・製造方法の採用</li><li>3. 地域の自然の恵みを活かした商品の開発</li><li>4. 自然環境保全活動への参加など社会貢献</li><li>5. 市民や各種団体が行う自然保護活動への支援</li><li>6. 環境に関する社内研修などの実施</li><li>7. その他 ( )</li></ol>
---

問7-1 以下に挙げた内容について、生物多様性の保全への取組として、貴事業所が取り組む予定または将来的に検討している取組はありますか？（○はいくつでも）

1. 環境に配慮した物品・サービスの購入（森林認証や漁業認証などの認証製品、グリーン購入など）
2. 業務における環境への配慮（省エネルギー・省資源、エコドライブ、地産地消、簡易包装、製品化の際の配慮、工事における工法の工夫など）
3. 他者（活動団体など）が行う環境保全活動への参加
4. 自社主催、またはNPOなどとの共催による環境保全活動の実施
5. 社内教育・研修の実施
6. 生物多様性の保全への取組に関する情報発信（ホームページ、広報誌など）

<問7-1で3、4とお答えの方>

問7-2 貴事業所が関心をもっている環境保全活動の取組は何ですか？（○はいくつでも）

1. 自然環境保全活動（草刈りやごみ拾い、植樹活動など）
2. 花植えや植栽など身近な環境の整備
3. シンポジウム、研修などへの参加
4. 子どもたちへの環境教育
5. 活動団体などへの援助（基金による資金提供など）
6. その他（ )

問8 貴事業所は、生物多様性保全に意欲がある企業や団体に対して、岡山市からどのような施策を実施して欲しいと考えていますか？（○はいくつでも）

1. 取組へのインセンティブの付与
2. 補助金による支援
3. 市民や各種団体が行う自然保護活動への支援を行うためのマッチング
4. 活動場所の提供
5. 経営層・従業員の意識向上のためのセミナー・シンポジウムの開催
6. 取組の参考となる事例集・ガイドラインなどの情報提供
7. その他（ )

## 環境保全に向けた行動について

問9 貴事業所では、日ごろ、環境保全または環境によい行動にどの程度取り組んでいますか？（○はいくつでも）

1. 「クール・ビズ」「ウォーム・ビズ」運動を実施する
2. 冷暖房の温度設定を適切にし、省エネに努める
3. 不要な照明や空調機器などを消す
4. 不使用のコンセントを抜く、または主電源を切る
5. 設備を替える時は、省エネタイプの製品を選択する
6. エコマーク商品などの環境にやさしい商品を仕入、生産または販売する
7. 裏紙利用などによって、紙の使用量の削減に努める
8. リサイクルなどにより、廃棄物の減量化に努める
9. 出荷・販売する製品などの包装簡易化に取り組む
10. トイレや清掃などの節水に取り組む
11. 雨水の貯水タンクなどの設置により、雨水を有効利用する
12. 法令順守のみならず、環境への負荷を最小限にするために、高度な環境保全設備（汚水処理、ばい煙処理、粉塵処理、防音、脱臭など）の導入に努める
13. 建物の新築、増築等にあたっては、周辺景観と調和した色彩や高さにするよう配慮する
14. 環境保全に関するイベントに協力・参加する
15. 清掃活動などの地域の美化活動へ参加する
16. 敷地内や屋上などの積極的な緑化に努める
17. 植樹などの地域の緑化活動へ参加する
18. 環境報告書（環境活動レポートやCSR報告書なども含む）を作成する
19. 社員を対象とした環境保全に関する研修を行う
20. ISO14001 やエコアクション 21 等の環境マネジメントシステムを導入・推進している
21. 急発進・急加速・急ブレーキをしないなどのエコドライブに努める

問 10 貴事業所では、省エネルギー、再生可能エネルギー関連の機器を利用していますか？以下について、それぞれあてはまる番号を1つ選び、番号を記入してください。

①利用状況

②導入したきっかけ (①で「1. 現在利用している」と答えた方のみ)

③導入しない理由 (①で「6. 導入するつもりはない」と答えた方のみ)



項目	①利用状況	②導入したきっかけ	③導入しない理由
	1～6	1～5	1～6
1. 太陽光発電設備			
2. 太陽熱温水器			
3. 省エネ型冷暖房機（高効率のエアコン、冷温水機、ボイラーなど）			
4. LED 照明			
5. 省エネ型オフィス機器※1			
6. 事業活動に使用する省エネタイプの機器（ボイラーなど熱源機器、コンプレッサー、インバータなど）			
7. デマンド監視装置※2			
8. 蓄電池			
9. BEMS（ベムス）※3			
10. 電気自動車（EV）※4			
11. ハイブリッド自動車（HV、PHEV）			
12. 燃料電池自動車（FCV）			

※1：パソコン・プリンタ・複合機等のうち、ここでは「国際エネルギースタンプログラム」の製品（右図のステッカーが添付（色は水色））



※2：電気の基本料金を決定する最大需要電力（デマンド値）を計測し、需要電力があらかじめ設定した目標値に近づくと警告を発したりして、電気の使いすぎを知らせる装置

※3：ビルのエネルギー管理システムの意味で、ビル内に設置した電力や温度など複数のセンサー情報を元に電力使用状況の可視化および空調・照明などの機器の制御による省エネルギー化を行う装置

※4：バッテリーに充電した電気で走る自動車（三菱自動車「i-MiEV」、日産自動車「リーフ」など）



問 13 気候変動に対して、貴事業所で取り組んでいる適応策はありますか。あてはまる欄に○を記入してください。

項目	取組状況	
	実施中	実施予定
1. 対策機器（設備）の導入		
2. 関連商品の開発		
3. 計画の策定（BCP等）		
4. 研修等		
5. 影響調査・情報収集		
6. その他（ ）		

#### 脱炭素・カーボンニュートラルについて

問 14-1 岡山市では、2050年までに地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指しています。貴事業所の考え方に近いものを教えてください。（○はひとつ）

1. 知っており、取組に協力していきたい
2. 知っているが、取組に協力する気はない
3. 知らなかったが、取組に協力していきたい
4. 知らなかったし、取組に協力する気もない

問 14-2 貴事業所にとって、「地球温暖化対策」とはどのようなものだと感じますか？（○はひとつ）

1. 自社の事業活動を豊かにするものである
2. 自社の事業活動を脅かすものである
3. 自社の事業活動に影響を与えないものである
4. わからない

問 14-3 これまでに取引先から温室効果ガスの削減や目標設定の要求はありましたか？

(○はひとつ)

1. 要求されたことがある
2. 要求されたことはない
3. わからない

問 14-4 貴事業所のカーボンニュートラルに向けた現在の対応状況として、あてはまる番号を選んでください。(○はいくつでも)

1. 事業に影響を与える気候変動リスク・機会を把握している
2. TCFD 提言に沿ったシナリオ分析、情報開示を行っている
3. 自社の排出量を算定している（スコープ1、2）
4. 事業活動に関連する他社の排出量を算定している（スコープ3）
5. 排出削減目標を設定している
6. 排出削減計画（ロードマップ）を策定している
7. 排出削減計画を実行している
8. 上記のいずれも該当しない

● 「TCFD」とは

2015年に金融安定理事会が発足させたタスクフォースの略称で、企業の財務情報に気候変動関連リスクや機会などに対する対応状況や事例を併記して開示する取組のこと

問 14-5 <問 14-4>で1～7を選んだ方にお聞きします。貴事業所で現在実施している取組として、あてはまる番号を選んでください。(○はいくつでも)

1. 照明の LED 化
2. 太陽光発電の設置
3. 環境配慮型自動車に買い替え（EV 車・HV 車など）
4. 省エネ設備の導入
5. 節電・節水
6. 燃料や原材料を再生可能なものに転換
7. 資源のリサイクル
8. 生産性の向上
9. 森林の保全

次ページに続く

10. 省エネ診断
11. SDGs の推進
12. ペーパーレス化
13. 廃棄物の削減
14. CO<sub>2</sub>排出量の算定・把握

問 14-6 <問 14-4>で1～7を選んだ方にお聞きします。

貴事業所で今後の実施を検討している取組として、あてはまる番号を選んでください。(○はいくつでも)

1. 照明の LED 化
2. 太陽光発電の設置
3. 環境配慮型自動車に買い替え (EV 車・HV 車など)
4. 省エネ設備の導入
5. 節電・節水
6. 燃料や原材料を再生可能なものに転換
7. 資源のリサイクル
8. 生産性の向上
9. 森林の保全
10. 省エネ診断
11. SDGs の推進
12. ペーパーレス化
13. 廃棄物の削減
14. CO<sub>2</sub>排出量の算定・把握

問 14-7 貴事業所のカーボンニュートラルに向けた現在の対応状況について、次の段階に進むにあたっての貴事業所の課題と思われることを選んでください。(○はいくつでも)

1. 必要な技術が不足している
2. 必要なノウハウ、人員が不足している
3. 投資・運営コストが増え、対応が困難である
4. サプライチェーンの見直しが困難である
5. その他 ( )
6. わからない
7. 既に対応を終えており、次の段階に進む必要がない

#### サーキュラーエコノミーについて

問 15-1 貴事業所は「サーキュラーエコノミー」について知っていますか？(○はひとつ)

1. 知っている
2. 聞いたことがあるが、意味はよく知らない
3. 聞いたことがない

#### ●「サーキュラーエコノミー」とは

サーキュラーエコノミー（循環経済）とは、生産から廃棄までのあらゆる段階で資源の効率的・循環的な利用を図り、環境への取組を企業の収益につなげていく経済活動のことです。

(例)

- ・食品として流通できず廃棄されていた規格外の果物野菜を原料として新たな食品を製造する。
- ・不要になった服を店頭で回収して、再び衣服にして販売する。
- ・不要になった衣装ケースなどのプラスチック製品を回収し、リユース品として売却したり、溶かして違う製品の原料にしたりする。
- ・従来使い捨てにされていた食品などの容器を、繰り返し利用できる容器に変更し、使用後に購入者から容器を回収・再利用する。

問 15-2 貴事業所は「サーキュラーエコノミー」の取組についてどう思いますか。

(○はひとつ)

1. とても重要な取組だと思う
2. 重要な取組だと思う
3. あまり重要な取組だと思わない
4. 重要な取組だと思わない
5. どちらともいえない

問 15-3 貴事業所で行っているサーキュラーエコノミーの取組に近いものを次の中か

ら選んでください。(○はいくつでも)

1. CO<sub>2</sub> 排出、有害物質、水・大気の汚染や交通渋滞など経済活動による人の健康や自然環境への負荷を低減する（廃棄物・汚染などを出さない設計）
2. 設計によって製品・部品・素材の耐久性、リユース、再製造やリサイクルを進め、経済の中で循環させる他、バイオ由来素材については経済システムと自然システム間を行き来させる（製品や資源を使い続ける）
3. 再生可能エネルギーの活用や土壌への養分還元など、非再生資源の使用を避け、再生可能資源を活用する（自然のシステムを再生する）
4. 取組を行っていない

## 岡山市の環境や取組について

問 16 岡山市の環境施策について、重要度を感じる項目は何ですか？（○はいくつでも）

1. 通りのまちなみ景観
2. まちなかの緑や公園・緑地の整備
3. 憩える水辺空間の整備
4. 歩道の安全性・快適性
5. まちなかのごみ清掃・美化
6. 空き家の適切な管理の促進
7. 歴史文化財の保護や伝統文化の継承
8. 河川などの水辺の保全
9. 砂浜や自然海岸の保全
10. 森林などの自然の保全
11. 農地の保全
12. 昆虫・鳥などの生き物の多さ
13. 外来生物対策
14. 鳥獣被害対策
15. 自然に親しめるレクリエーション施設などの整備
16. 下水道の整備
17. 節水や雨水、地下水などの水循環
18. ごみの減量やリサイクル
19. 不法投棄の取り締まり・防止
20. 自動車交通や工場などの騒音対策
21. 有害化学物質の環境汚染対策
22. 災害に強いまちづくり
23. 地球温暖化防止対策の推進
24. 省エネルギーの推進
25. 太陽光発電・風力発電などの再生可能エネルギーの利用
26. バス、電車などの公共交通の整備
27. 環境にやさしい商品やサービスの普及
28. 環境教育・環境学習に関する取組
29. 環境情報の収集と提供

